

オプションレンズ 取扱説明書

安全上のご注意

(必ずお守りください)

交換作業の前に、この「安全上のご注意」をよく読んでください。交換作業時の事故防止と、作業後の製品安全確保のために、必ずお守りいただきたいことを次のように説明しています。

- 誤った作業をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の絵表示で区分しています

 警告	この絵表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性」があります。
 注意	この絵表示の欄は「傷害を負ったり物的損害を発生する可能性」があります。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分しています。

	この絵表示は気をつけて欲しい「注意喚起」内容です。		この絵表示は火傷の可能性がある場合の「高温注意」内容です。
	この絵表示は感電の可能性がある場合の「感電注意」内容です。		
	この絵表示は絶対してはいけない「禁止」内容です。		レンズをのぞかない
			投写光をさえぎらない

警告

-  ■ レンズの交換作業は、安全のため、必ず交換方法に従い行う。
-  ■ 交換作業の前には、本書およびレンズを取付けるプロジェクターの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
誤ったご使用方法は火災やけが、故障の原因となります。
-  ■ 衝撃を与えないでください
けがや故障の原因となります。レンズをプロジェクターに取付けた状態ではレンズ部が突出する場合がありますので、ぶついたり落としたりしないようにご注意ください。
-  ■ 投射窓をのぞかない
本機の使用中は、投写窓から強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

警告



- **投写中は投写窓を塞いだり手を近付けたりしない**
投写窓からは強い光がでるため、やけどや火災の原因となります。



■ **投写窓の取り扱いに注意する**

- 本機の投写窓は、強い力や衝撃により破損するとけがの原因となります。投写窓が破損した場合は、お客様自身で直接手を触れず、電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。
- ▶ 投写窓に強い力や衝撃を加えないでください。
 - ▶ 本機の近くで子どもを遊ばせないでください。

お守りください

■ **レンズの取扱いに注意してください**

- ・ レンズを輸送する場合は、レンズキャップを取り付け、レンズ部や投写窓を保護してください。また、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特に投写窓周りの梱包にはご注意ください。
- ・ レンズや投写窓を硬いもので擦ったり、磨いたりしないでください。
- ・ レンズや投写窓に直接手を触れないでください。くもったり汚れたりすると、画像品質に悪い影響を及ぼします。
- ・ レンズに付いているコネクタには、手を触れたり衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ・ レンズは精密光学機器です。衝撃や振動を与えないよう、取扱には充分注意をお願いいたします。
- ・ レンズを置く時は、投写窓を上にして、柔らかい布の上に置いてください。
- ・ 使用中は、投写窓に何かを張り付けたり、密着させて置いたりしないでください。高温となって投写窓が溶け、映像不良の原因となることがあります。

■ **お手入れについて**

- ・ レンズのお手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃に使用するもの）で行ってください。
- ・ その他の部分はガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布を良く絞って、軽く拭いてください。
- ・ ベンジンやシンナーなどの溶剤、研磨剤など上記以外の洗剤や薬品などはご使用にならないでください。

以下の記述は EU 加盟国にのみ適用します。

右記のマーク表示は WEEE(Waste Electrical and Electronic Equipment Directive 2012/19/EU) に基づくものです。

このマークは、このマークが表示されている製品を、一般のゴミとして廃棄してはならず、廃棄を行う国や地域の規則に従って適切な回収システムを使用しなければならないことを示します。



使用方法

- ・プロジェクターの取扱説明書に従って画像を投写し、投写サイズやフォーカスを調整してください。
- ・オプションレンズの投写距離については、本説明書の **Projection distance table** (投写距離表) をご参照ください。

お知らせ

- ・本機は、非球面レンズ、ミラーを応用した超短投写距離を特長としており、その構造上、以下のような特性をもっています。予めご了承ください。
- ロールアップ式スクリーンなど、投写面がたわんだり揺れたりするスクリーンでは、投写映像に大きな歪みが生じるため、ご使用になれません。ボード式スクリーンなど、平板な面へ投写してご使用ください。
- スクリーンゲインの高いビーズタイプは適していません。ゲイン 1.0 程度の広視野角タイプ (マットタイプ) を推奨します。
- スクリーンの織目と液晶画素の干渉縞 (モアレ) が発生する場合があります。故障ではありません。モアレ発生を抑えたスクリーンをご使用ください。
- 本機の位置や高さが僅かでも変化すると、投写映像は大きく移動したり、歪みが生じたりします。
- 本機は周囲温度などの影響で、投写位置がずれたり、画面が歪んだり、フォーカスが変動することがあります。ランプが点灯してから性能が安定するまでの約 30 分程度は、特に変化が生じ易くなりますので、必要に応じて確認と再調整を行ってください。
- フォーカスを調整すると、画面のサイズが変化します。画面の位置や角度を調節する前に、フォーカス調節を行ってください。
- 本レンズをプロジェクターに取り付けた場合、投写画面周辺部分のフォーカスのバランスが変化します。本レンズの補正機能で補正してください。
- 投写サイズによっては画像の周辺部分が中心と比べてフォーカスのバランスが取りにくい場合があります。中心と周辺部分のバランスが合うようにフォーカスを調整してください。
- ・天吊りや壁掛け設置にすると、映像表示位置が変わることがあります。再設定が必要な場合は、販売店または業者にお問い合わせください。
- ・キーストン補正量 (台形歪み補正量) が大きい場合、画面に歪みが生じる場合があります。
- ・本機は、スクリーンへの光線入射角度が大きいため、白色映像表示において、スクリーンの種類や見る角度によって投写面に色が付いて見える場合がありますが、故障や不具合ではありません。
- ・各仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

About IEC 62471-5

明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。

RG2 IEC62471-5 : 2015

MC-X8801B, MC-X8801W,

MC-WX8651W, MC-WX8751B, MC-WX8751W,

MC-WU8601W, MC-WU8701B, MC-WU8701W



MP-WU8701B, MP-WU8701W, MP-WU8801B, MP-WU8801W

		<p>This projector may become RG3 when an interchangeable lens with throw ratio greater than 4.7 is installed. Refer to the manual for the lens list and hazard distance before operation. Such combinations of projector and lens are intended for professional use only, and are not intended for consumer use.</p> <p>Ce projecteur peut se transformer en RG3 si un objectif interchangeable ayant un ratio de projection supérieur à 4,7 est installé. Consultez le manuel pour la liste des objectifs et la distance à risque avant toute utilisation. De telles combinaisons de projecteur et d'objectifs sont destinées à un usage professionnel uniquement et ne sont pas destinées au grand public.</p> <p>Dieser Projektor kann zu RG3 werden, wenn ein Wechselobjektiv mit einem Throw-Ratio größer als 4,7 installiert wird. Vor Inbetriebnahme siehe Objektvliste und Sicherheitsabstand. Derartige Kombinationen von Projektor und Objektiv sind nur für professionellen Gebrauch vorgesehen und sind nicht für Verbraucherverwendung gedacht.</p>
<p>LASER RADIATION AVOID DIRECT EYE EXPOSURE CLASS 3R LASER PRODUCT Wavelength : 449-461 nm Max. Output : 120 mW IEC 60825-1:2007</p>	<p>RAYONNEMENT LASER ÉVITER D'EXPOSER DIRECTEMENT LENS YEUX PRODUIT LASER DE CLASSE 3R Longueur D'onde : 449-461 nm Sortie max. : 120 mW IEC 60825-1:2007</p>	<p>雷射輻射 避免眼睛受到直接照射 3R類雷射產品 波長 : 449-461 nm 最大輸出 : 120 mW IEC 60825-1:2007</p>
<p>LASER ENERGY – EXPOSURE NEAR APERTURE MAY CAUSE BURNS ÉNERGIE LASER – L'EXPOSITION PRÈS DE L'OUVERTURE PEUT PROVOQUER DES BRÛLURES LASERENERGIE – AUSSETZUNG IM BEREICH DER ÖFFNUNG KANN VERBRENNUNGEN VERURSACHEN 雷射能量 – 暴露於光圈附近可能會導致燙傷</p> <p>QL58851</p>	<p>CLASS 1 LASER PRODUCT PRODUIT LASER DE CLASSE 1 LASERPRODUKT DER KLASSE 1 1類雷射產品 IEC/EN 60825-1:2014</p>	<p>LASER APERTURE OUVERTURE LASER LASERÖFFNUNG 雷射窗口</p>

交換作業上のご注意

警告

-  ■ 日光や照明光が直接あたるところ、熱器具のそばなどには置かないでください。レンズの特性上、火災の原因となります。また故障や損傷の原因となることがあります。
-  ■ レンズ交換作業の際は、必ず電源プラグを抜いてください。プロジェクターの内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。また、あやまって強い光が目に入ると、視覚障害などの原因となります。
-  ■ レンズ交換の前は、電源プラグを抜き、放置してプロジェクター本体を十分冷ましてください。
-  ■ レンズの交換作業の際、本体内部やレンズのコネクタなどへホコリが入らないようにご注意ください。内部にホコリがたまった状態で使用し続けると火災、感電の原因となることがあります。
-  ■ プロジェクターを天井（天吊り）や高所に設置している場合は、レンズの交換作業を必ず販売店へご依頼ください。けがや故障の原因となります。
-  ■ プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

注意

-  ■ 取付け作業の際、プロジェクター内部の光学部品には、手を触れたり衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となることがあります。また、光学調整にずれが生じて再調整が必要となります。
-  ■ 取付け作業の際、プロジェクターのコネクターや線材を傷めないようにご注意ください。故障の原因となることがあります。コネクターや線材を無理に引っ張ったり、基板やケースに挟んだりしないようにご注意ください。

付属品

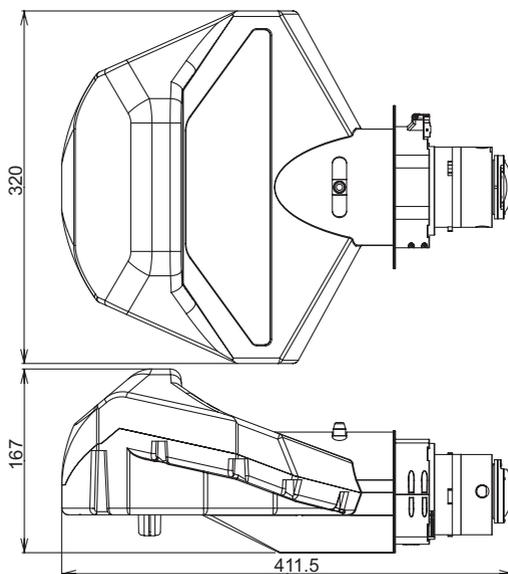
この製品には、レンズ以外に次のものが含まれます。

品名	型名	付属品
超短焦点固定レンズ	FL-710	オプティカルフィルター（型名：UE34131） レンズキャップ オプションレンズ 取扱説明書

仕様一覧

型名	FL-710		
対応機種	MC-X8801B, MC-X8801W, MC-WX8651W, MC-WX8751B, MC-WX8751W, MC-WU8601W, MC-WU8701B, MC-WU8701W, MP-WU8701B, MP-WU8701W, MP-WU8801B, MP-WU8801W		
フォーカス	電動		
レンズ シフト 位置*	上下 方向	MC-X8801B, MC-X8801W	+73%
		MC-WX8651W, MC-WX8751B, MC-WX8751W, MC-WU8601W, MC-WU8701B, MC-WU8701W	+85%
		MP-WU8701B, MP-WU8701W, MP-WU8801B, MP-WU8801W	+88% - +82%
	左右 方向	MC-X8801B, MC-X8801W, MC-WX8651W, MC-WX8751B, MC-WX8751W, MC-WU8601W, MC-WU8701B, MC-WU8701W	0%
		MP-WU8701B, MP-WU8701W, MP-WU8801B, MP-WU8801W	+5% - -5%
F 値	2.0		
焦点距離	6.27 mm		
投写比	MC-X8801B, MC-X8801W	0.39 : 1	
	MC-WX8651W, MC-WX8751B, MC-WX8751W, MC-WU8601W, MC-WU8701B, MC-WU8701W, MP-WU8701B, MP-WU8701W, MP-WU8801B, MP-WU8801W	0.38 : 1	
投写範囲	100 - 350 型		
外形寸法	320(横幅) x 167(高さ) x 411.5(奥行き) mm		
質量 (約)	3.1 kg		

* ご使用のプロジェクターによっては、レンズの自動認識ができず、正規のレンズシフト位置を外れた位置までレンズが動き、画面の一部が欠けてしまう場合があります。画面の欠けが発生しない範囲で調整してください。詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。



お知らせ

- 対応機種につきましては、本書に記載以外の機種も対応している場合があります。最新情報に関しましては、下記の弊社 WEB サイトでご確認ください。

http://biz.maxell.com/en/display_equipment/

Maxell, Ltd.

5030 Totsuka-cho, Totsuka-ku, Yokohama-shi, Kanagawa 244-0003 Japan



http://biz.maxell.com/ja/display_equipment/

マクセル株式会社

〒 244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 5030 番地



レンズの取り付けと取り外し方法

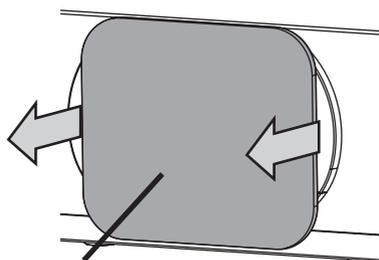
レンズの交換や取り外しの際は、あらかじめレンズシフトを中心位置に戻してください。レンズシフトの中心位置への戻し方は、プロジェクター本体の取り扱い説明書、または本説明書の「レンズを取り外す」をご確認ください。

レンズを取り付ける

■ 対応機種

MC-X8801B, MC-X8801W, MC-WX8651W, MC-WX8751B, MC-WX8751W,
MC-WU8601W, MC-WU8701B, MC-WU8701W の場合

1. ダストプロテクターを取り外す。
ダストプロテクターのつまみを持って水平に引き出してください。

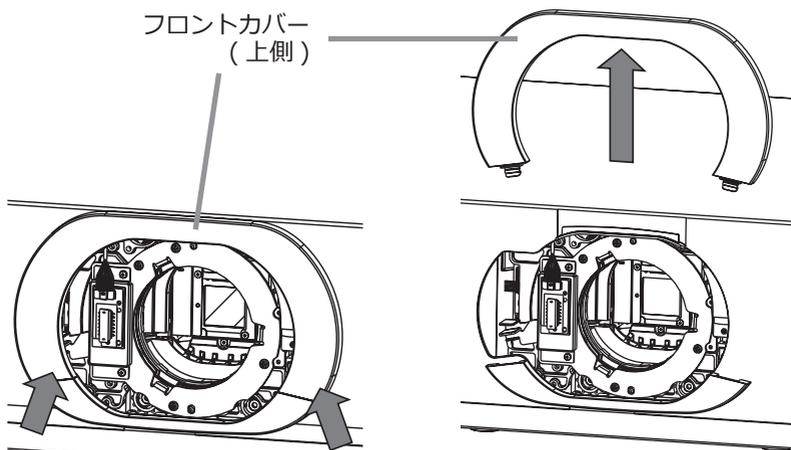


ダストプロテクター

お知らせ

- プロジェクター本体の梱包材やダストプロテクターは大切に保管してください。修理や引っ越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特に投写窓周りの梱包にはご注意ください。

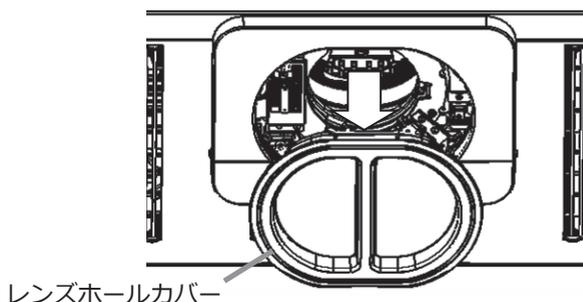
2. フロントカバーを取り外します。
フロントカバーを下から押しながら、上にスライドさせて、プロジェクター本体から取り外します。



■ 対応機種

MP-WU8701B, MP-WU8701W, MP-WU8801B, MP-WU8801W の場合

1. レンズホールカバーを取り外す。レンズホールカバーのつまみを持って水平に引き出してください。

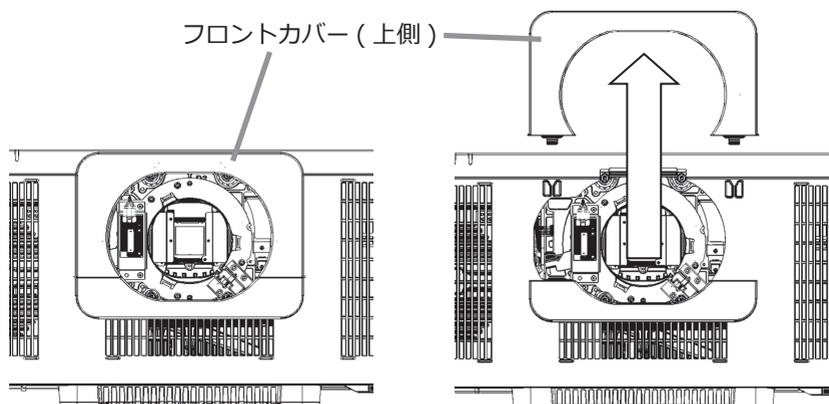


お知らせ

- 今後ご使用するため、レンズホールカバーは大切に保管してください。
修理や引っ越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特に投写窓周りの梱包にはご注意ください。

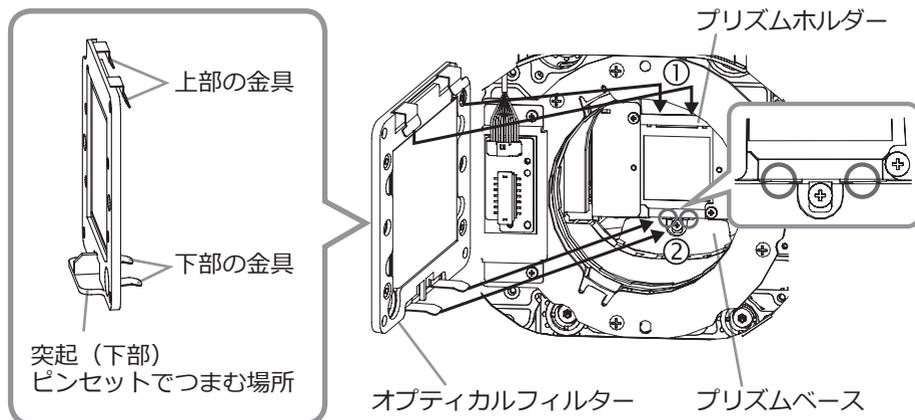
2. フロントカバーを取り外します。

フロントカバーを下から押しながら、上にスライドさせて、プロジェクター本体から取り外します。



3. オプティカルフィルターを取り付けます。

- (1) ピンセットを使用し、付属のオプティカルフィルターの下部の突起をつまみ、プロジェクターのプリズムホルダーに、オプティカルフィルターの上部の金具を引っ掛けます(①)。
- (2) 次に、オプティカルフィルターの下部の金具を、プリズムホルダーとプリズムベースとの隙間にしっかりと差し込みます(②)。



警告



■ レンズ交換作業の際は、必ず電源プラグを抜いてください。

プロジェクターの内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。
また、あやまって強い光が目に入ると、視覚障害などの原因となります。

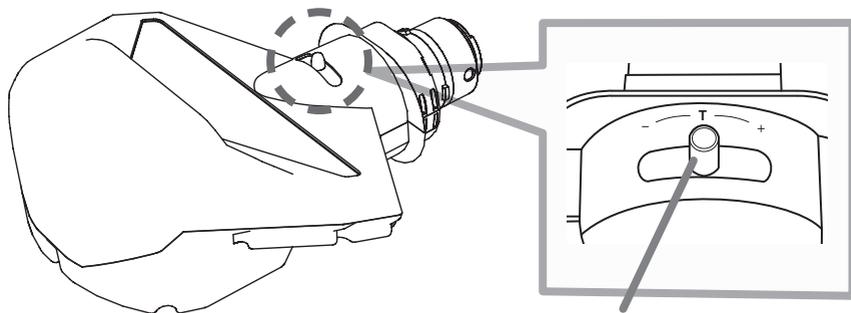
注意

- 本レンズをご使用の際は、オプティカルフィルターを取り付けてください。オプティカルフィルターを使用しないと、投写映像が正しく表示されない場合があります。
- オプティカルフィルターの着脱は正しくおこない、プロジェクター内部に当たらないでください。破損の原因となることがあります。
- オプティカルフィルターの取り付けの際は正しくおこなってください。斜めに取り付いたりすると、投写映像が正しく表示されなかい場合があります。
- 本レンズ以外のオプションレンズを取り付けの際は、オプティカルフィルターを取り外してください。破損の原因となることがあります。
- 取り付け作業の際、プロジェクター内部の光学部品には、手を触れたり衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となることがあります。また、光学調整にずれが生じて再調整が必要となります。
- 取り付け作業の際、プロジェクターのコネクターや線材を傷めないようにご注意ください。
故障の原因となることがあります。コネクターや線材を無理に引っばったり、基板やケースに挟んだりしないようにご注意ください。

レンズを取り付ける（つづき）

<ティルト補正機能について>

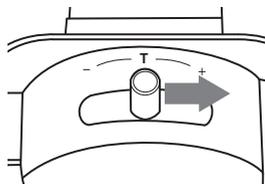
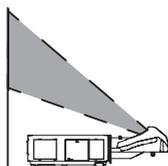
本レンズをプロジェクターに取り付けてスクリーンに投写した際、投写画面の周辺部分のフォーカスのバランスが変化します。本レンズに搭載しているティルト補正機能により、フォーカスのバランスを補正してください。机上設置と天吊り（天井）設置のいずれかの設置方法によって、ティルト補正方法が異なりますので、下記を参照して補正してください。



ティルト補正レバー

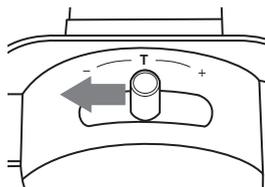
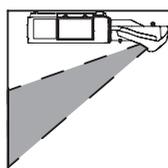
■ 机上設置でご使用の場合

ティルト補正レバーを（+）プラスの方向に動かしてください。



■ 天吊り（天井）設置でご使用の場合

ティルト補正レバーを（-）マイナスの方向に動かしてください。



⚠ 注意

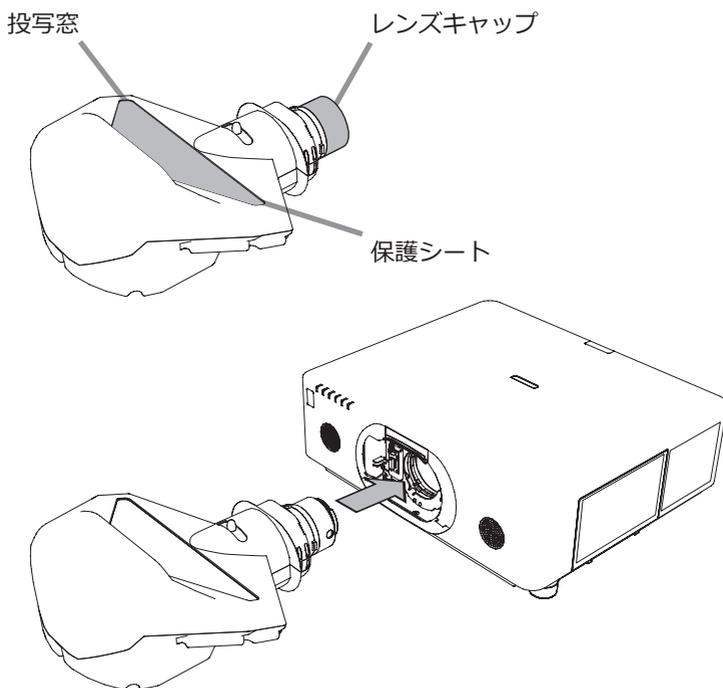


■ ティルト補正は、必ずプロジェクター本体に取り付ける前に行ってください。取り付けたまま行くと故障の原因となります。

レンズを取り付ける（つづき）

4. レンズを取り付ける。

（1）投写窓に付いている保護シート、およびレンズキャップを取り外し、プロジェクター本体にはめ込みます。

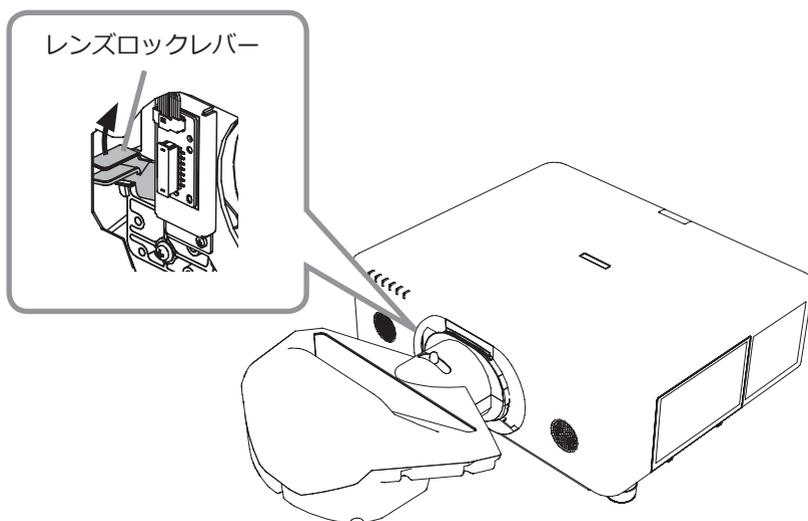


⚠ 注意

- 保護シートは必ず取り外してください。取り付けのままプロジェクターを動作させると、高温となって保護シートが溶け、映像不良の原因となることがあります。
- レンズキャップを取り付けたままプロジェクター本体に取り付けると故障の原因となります。
- レンズを取り付ける際は、レンズ面をプロジェクター本体に当てないでください、故障の原因となることがあります。
- レンズに付いているコネクタには、手を触れたり衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- プロジェクター本体にレンズを取り付けたまま、ティルト補正レバーを動かさないでください。故障の原因となります。

レンズを取り付ける（つづき）

- (2) レンズを支えながら、レンズロックレバーを「カチッ」とロックするまで矢印の方向に押し上げ、レンズを取り付けます。



警告

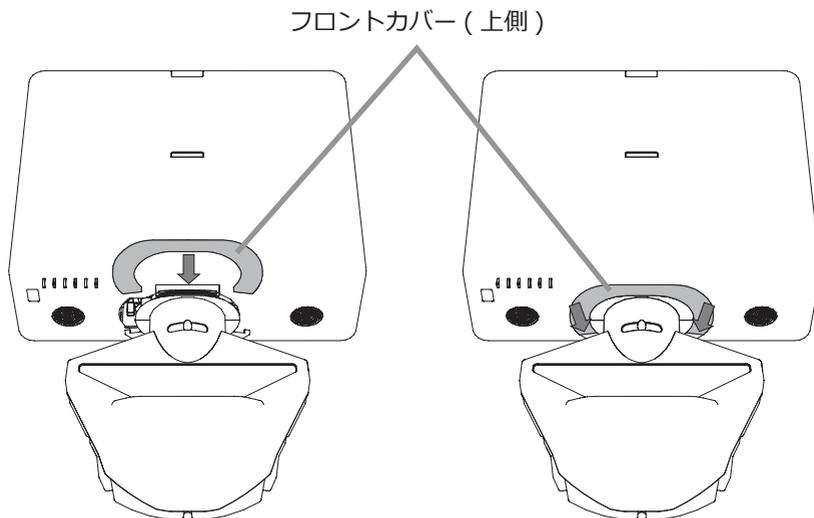
- レンズの脱落防止のため、レンズ取り付け後、レンズが正しく取り付けられているか、レンズが動かないことを確認してください。レンズが落下すると、けがの原因となったり、レンズおよび周囲のものを損傷することがあります。

レンズを取り付ける (つづき)

■ 対応機種

MC-X8801B, MC-X8801W, MC-WX8651W, MC-WX8751B, MC-WX8751W,
MC-WU8601W, MC-WU8701B, MC-WU8701W の場合

5. フロントカバーを取り付けます。
フロントカバーをプロジェクター本体にはめ込みます。

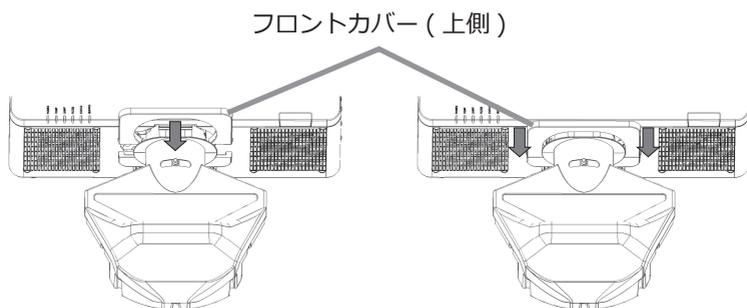


レンズを取り付ける (つづき)

■ 対応機種

MP-WU8701B, MP-WU8701W, MP-WU8801B, MP-WU8801W の場合

5. フロントカバーを取り付けます。
フロントカバーをプロジェクター本体にはめ込みます。



レンズを取り外す

■ 対応機種

MC-X8801B, MC-X8801W, MC-WX8651W, MC-WX8751B, MC-WX8751W,
MC-WU8601W, MC-WU8701B, MC-WU8701W の場合

1. レンズシフトを中心位置に戻します。

- (1) **LENS SHIFT** ボタンを押してください。レンズシフトダイアログが表示されます。
- (2) ダイアログが表示されている間に、**ENTER** または **INPUT** ボタンを押してください。レンズを中心位置に戻す、センタリング機能を実行するか、確認のメッセージが表示されます。
- (3) ▶ボタンを押すと、センタリング機能を実行します。

お知らせ

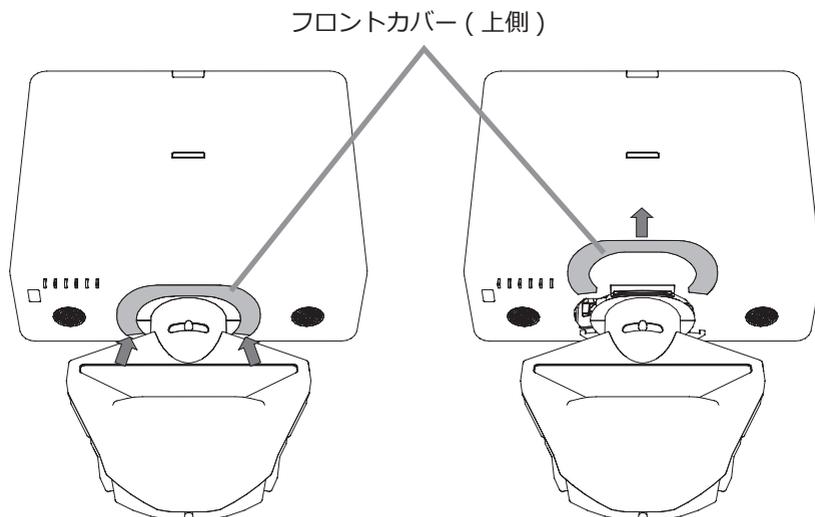
・プロジェクターがスタンバイ状態のときは、**FUNCTION** ボタンと **LENS SHIFT** ボタンを同時に 3 秒間押下げると、センタリング機能を実行することができます。

2. プロジェクター本体の電源を切る。

プロジェクター本体の電源を切って、電源プラグを抜き、放置して十分に冷ましてください。

3. フロントカバーを取り外します。

フロントカバーを下から押しながら、上にスライドさせて、プロジェクター本体から取り外します。



■ 対応機種

MP-WU8701B, MP-WU8701W, MP-WU8801B, MP-WU8801W の場合

1. レンズシフトを中心位置に戻します。

- (1) **LENS SHIFT** ボタンを押してください。レンズシフトダイアログが表示されます。
- (2) レンズシフトメニューの**センタリング**を選択し、**ENTER** または **▶** ボタンを押してください。レンズを中心に戻す、センタリング機能を実行するか、確認メッセージが表示されます。
- (3) **▶** ボタンを押すと、センタリング機能を実行します。

お知らせ

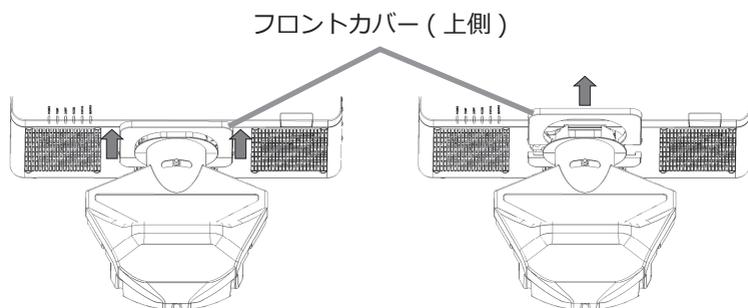
- ・ プロジェクターがスタンバイ状態のときは、**INPUT** ボタンと **LENS SHIFT** ボタンを同時に3秒間押下げると、センタリング機能を実行することができます。
- ・ ただし、「設置」メニューの「スタンバイモード」が「省電力」モードに設定されているときは、動作しません。電源を切る前か、「スタンバイモード」を「通常」モードに設定し、実行してください。

2. プロジェクター本体の電源を切ります。

プロジェクター本体の電源を切って、電源プラグを抜き、放置して十分に冷ましてください。

3. フロントカバーを取り外します。

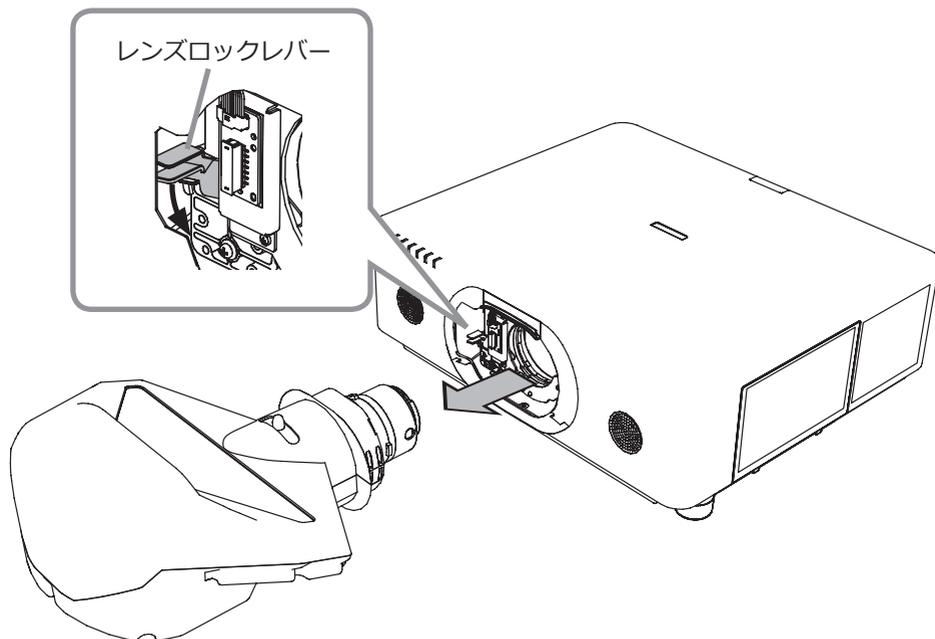
フロントカバーを下から押ししながら、上にスライドさせて、プロジェクター本体から取り外します。



レンズを取り外す（つづき）

4. レンズを取り外します。

レンズを支えながら、レンズロックレバーを矢印の方向に押し下げ、レンズを取り外します。レンズロックレバーは、上側のプレートが下側のプレートに触れるまで下げられると、動きます。



お知らせ

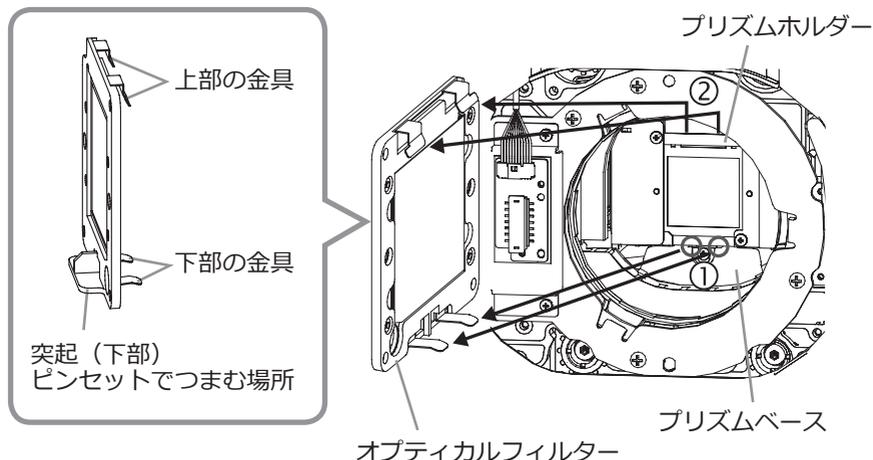
レンズを保管する際は、付属のレンズキャップを取り付けてください。

⚠ 注意

- レンズを取り外す際は、レンズ面をプロジェクター本体に当てないでください、故障の原因となることがあります。
- レンズに付いているコネクタには、手を触れたり衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

5. オプティカルフィルターを取り外します。

- (1) ピンセットを使用し、オプティカルフィルターの下部の突起をつまみ、プロジェクターのプリズムホルダーとプリズムベースとの隙間から引き抜きます (①)。
- (2) 次に、オプティカルフィルターの上部の金具を、プリズムホルダーから取り外します (②)。



警告



■ レンズ交換作業の際は、必ず電源プラグを抜いてください。

プロジェクターの内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。
また、あやまって強い光が目に入ると、視覚障害などの原因となります。

注意

- オプティカルフィルターの着脱は正しくおこない、プロジェクター内部に当てないでください。破損の原因となることがあります。
- 本レンズ以外のオプションレンズを取り付けの際は、オプティカルフィルターを取り外してください。破損の原因となることがあります。
- 取り付け作業の際、プロジェクター内部の光学部品には、手を触れたり衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となることがあります。また、光学調整にずれが生じて再調整が必要となります。
- 取り付け作業の際、プロジェクターのコネクターや線材を傷めないようにご注意ください。
故障の原因となることがあります。コネクターや線材を無理に引っ張ったり、基板やケースに挟んだりしないようにご注意ください。

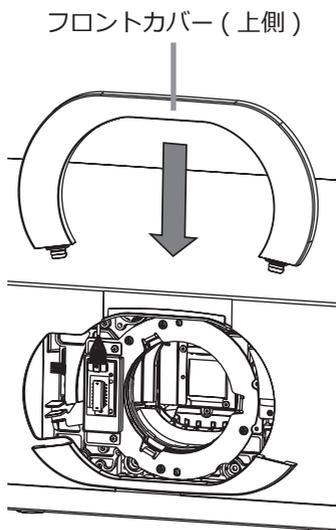
レンズを取り外す（つづき）

■ 対応機種

MC-X8801B, MC-X8801W, MC-WX8651W, MC-WX8751B, MC-WX8751W,
MC-WU8601W, MC-WU8701B, MC-WU8701W の場合

6. フロントカバーを取り付ける。

フロントカバーをプロジェクター本体にはめ込みます。



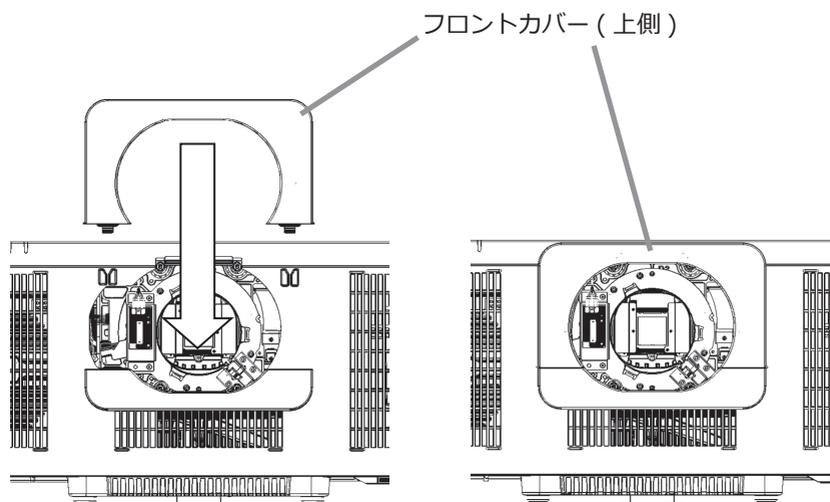
お知らせ

レンズ取り付け部分に汚れが入らないように、ダストプロテクターをはめ込んでください。

レンズを取り外す（つづき）

■ 対応機種

MP-WU8701B, MP-WU8701W, MP-WU8801B, MP-WU8801W の場合
フロントカバーをプロジェクター本体にはめ込みます。



お知らせ

レンズ取付部分に汚れが入らないように、レンズホールカバーをはめ込みます。

レンズシフト位置の設定方法

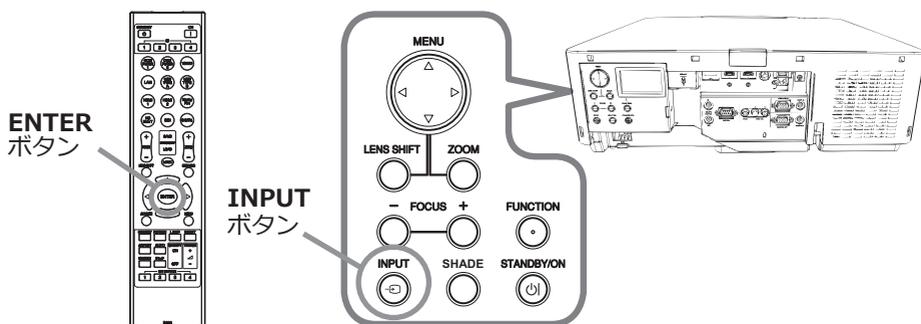
プロジェクター本体側の操作をすることで、自動的にレンズシフト位置を標準投写位置へ移動させます。

お知らせ

ご使用のプロジェクターによっては、レンズの自動認識ができず、本機能がご使用になれない場合があります。その場合は、リモコンもしくはプロジェクター本体側の操作でレンズシフト位置を調整してください。また、正規のレンズシフト位置を外れた位置までレンズが動き、画面の一部が欠けてしまう場合がありますので、画面の欠けが発生しない範囲で調整してください。

レンズシフト位置の設定

- (1) プロジェクター本体の電源を入れ、映像を投写してください。レンズシフト位置を標準投写位置に移動させるための自動設定機能を実行するかどうか、確認のメッセージが表示されます。
- (2) ダイアログが表示されている間に、**ENTER** または **INPUT** ボタンを押すと、自動的にレンズシフト位置が標準投写位置へ移動します。



警告

■ レンズ周りに手やものが触れないようにしてください。レンズが動いている際に指やものを挟むと、けがの原因になります。



■ 投写窓をのぞかない

本機の使用中は、投写窓から強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



■ 投写中は投写窓を塞いだり手を近付けたりしない

投写窓からは強い光がでるため、やけどや火災の原因となります。

レンズシフト位置の設定方法（つづき）

お知らせ

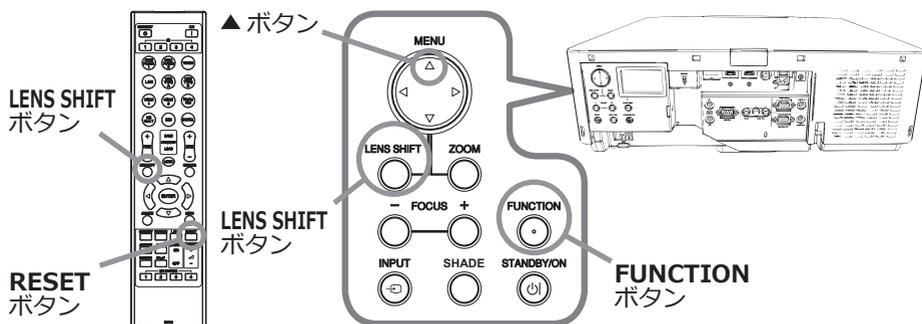
- ・標準投写位置に移動した後も、レンズシフト調整範囲内でレンズシフト機能をご使用いただけます。
- ・本レンズはレンズメモリ機能には対応していません。

レンズシフトを標準位置に戻す場合

■ 対応機種

MC-X8801B, MC-X8801W, MC-WX8651W, MC-WX8751B, MC-WX8751W,
MC-WU8601W, MC-WU8701B, MC-WU8701W の場合

- (1) **LENS SHIFT** ボタンを押してください。レンズシフトダイアログが表示されます。
- (2) ダイアログが表示されている間に、**RESET** ボタンを押すか、または **FUNCTION** ボタンと▲ボタンを同時に押してください。レンズシフト位置を標準投写位置に移動させるための自動設定機能を実行するかどうか、確認のメッセージが表示されます。
- (3) ▶ボタンを押すと、自動的にレンズシフト位置が標準投写位置へ移動します。



お知らせ

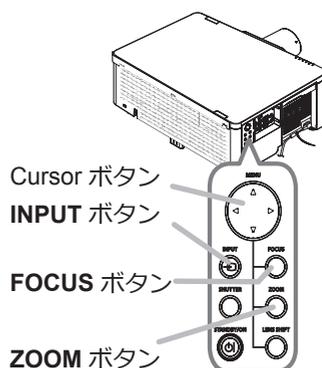
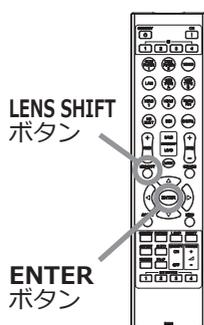
- ・プロジェクターがスタンバイ状態のときは、**FUNCTION** ボタンと▲ボタンを同時に3秒間押すと、本機能を実行することができます。
- ・レンズの交換や取り外しの際の、レンズシフトの中心位置への戻し方は、プロジェクター本体の取り扱い説明書、または本説明書の「レンズを取り外す」をご確認ください。

レンズシフト位置の設定方法（つづき）

■ 対応機種

MP-WU8701B, MP-WU8701W, MP-WU8801B, MP-WU8801W の場合

- (1) **LENS SHIFT** ボタンを押してください。レンズシフトダイアログが表示されます。
- (2) レンズシフトメニューの標準位置を選択し、**ENTER** または **▶** ボタンを押してください。
レンズシフト位置を標準投写位置に移動させるための自動設定機能を実行するか、確認メッセージが表示されます。
- (3) **▶** ボタンを押すと、自動的にレンズシフト位置が標準投写位置へ移動します。



お知らせ

- ・ プロジェクターがスタンバイ状態のときは、**LENS SHIFT** ボタンと **▲** ボタンを同時に 3 秒間押すと、本機能を実行することができます。
- ・ レンズの交換や取り外しの際の、レンズシフトの中心位置への戻し方は、プロジェクター本体の取り扱い説明書、または本説明書の「レンズを取り外す」をご確認ください。

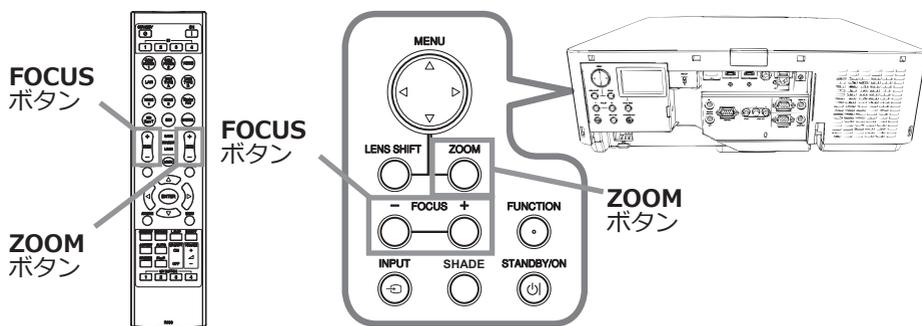
フォーカス調整方法

投写画面の中心部分のフォーカス、周辺部分のフォーカスを調整します。

■ 対応機種

MC-X8801B, MC-X8801W, MC-WX8651W, MC-WX8751B, MC-WX8751W,
MC-WU8601W, MC-WU8701B, MC-WU8701W の場合

- 画面中心のフォーカスを合わせる。
 - FOCUS+/-** ボタンを押してください。フォーカスダイアログが表示されます。
 - FOCUS+/-** ボタンを押し、画面中心のフォーカスを調整してください。
- 周辺部分のフォーカスを合わせる。
 - ZOOM+/-** ボタンを押してください。フォーカスダイアログが表示されます。
 - ZOOM+/-** ボタンを押し、画面周辺のフォーカスを調整してください。



警告

-  ■ **投射窓をのぞかない**
本機の使用中は、投写窓から強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。
-  ■ **投写中は投写窓を塞いだり手を近付けたりしない**
投写窓からは強い光がでるため、やけどや火災の原因となります。

お知らせ

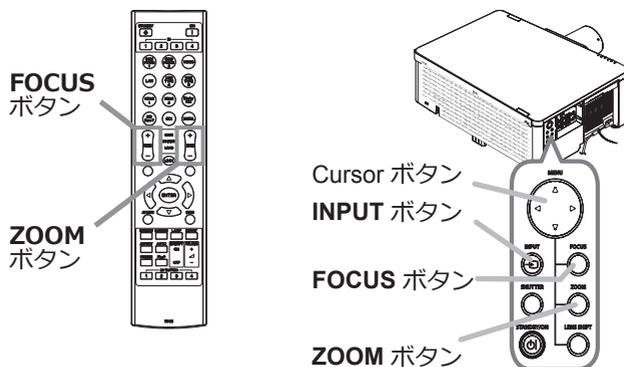
- ご使用のプロジェクターによっては、レンズの自動認識ができず、周辺部分のフォーカスを合わせる際、ズームダイアログが表示される場合がありますが、故障ではありません。
- 本レンズはレンズメモリ機能には対応していません。

フォーカス調整方法（つづき）

■ 対応機種

MP-WU8701B, MP-WU8701W, MP-WU8801B, MP-WU8801W の場合

- 画面中心のフォーカスを合わせる。
 - リモコンの **FOCUS+/-** ボタン、またはプロジェクター本体の **FOCUS** ボタンを押してください。
フォーカスダイアログが表示されます。
 - リモコンの **FOCUS +/-** ボタン、またはカーソルボタンを押して調整してください。
- 周辺部分のフォーカスを合わせる。
 - リモコンの **ZOOM+/-** ボタン、またはプロジェクター本体の **ZOOM** ボタンを押してください。
フォーカスダイアログが表示されます。
 - リモコンの **ZOOM+/-** ボタン、またはカーソルボタンを押して調整してください。



警告

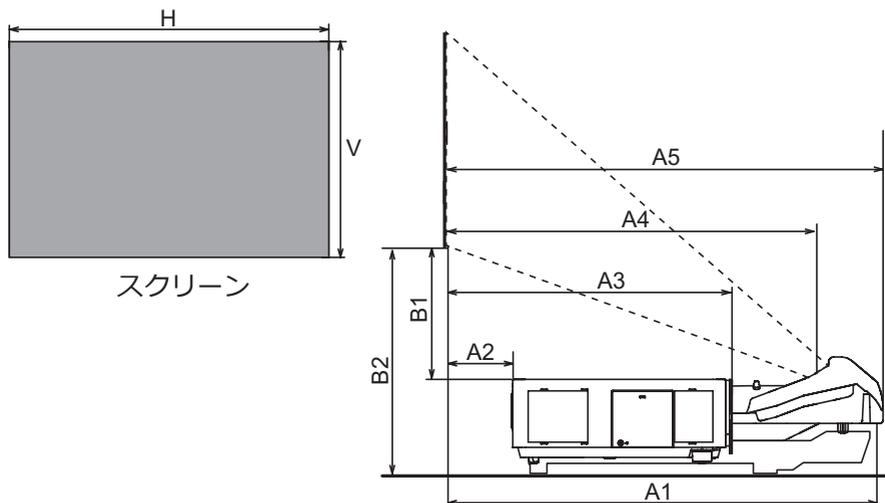
-  ■ **投射窓をのぞかない**
本機の使用中は、投写窓から強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。
-  ■ **投写中は投写窓を塞いだり手を近付けたりしない**
投写窓からは強い光がでるため、やけどや火災の原因となります。

お知らせ

- ・ご使用のプロジェクターによっては、レンズの自動認識ができず、周辺部分のフォーカスを合わせる際、ズームダイアログが表示される場合がありますが、故障ではありません。
- ・本レンズはレンズメモリ機能には対応していません。

投写距離表の定義

- 本機とスクリーン間の寸法関係は以下の通りです。
- 投写距離については、巻末の投写距離表をご参照ください。



H : スクリーンの横幅

V : スクリーンの縦幅

A1 : スクリーンからレンズのミラー反射面

A2 : スクリーンからプロジェクター後面

A3 : スクリーンからプロジェクター前面

A4 : スクリーンからレンズの投写窓中心

A5 : スクリーンからレンズ先端

B1 : スクリーン下端からプロジェクター天面

B2 : スクリーン下端からプロジェクター底面 (地面)

* 寸法 A1 のミラー反射面は、レンズの内部にあるため確認できません。

※この図は正確な縮尺ではありません

⚠ 注意

- 寸法 A 2 は、プロジェクター本体の後面とスクリーンまでの間の距離です。設置の際は、本機の排気口や吸気口と壁などとのスペースを必ず 50 cm 以上とって設置してください。
- 密閉した空間に設置する際は、空調設備、換気設備を設けてください。通風が正常に行われないと、プロジェクターの内部温度が上がり過ぎ、電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

